

2020/05/22(金)13:18

科目ナンバー	RES-2-002-sn			科目名	群馬の人と思想		
教員名	野口 華世			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	・群馬と関わりの深い人物や集団の思想を、群馬の歴史と関連させて学ぶ。 ・各時代に生きた人びとやその意識と行動から、現在の群馬県の人と思想が形作られたルーツについて考える。						
到達目標	・群馬地域と関わりの深い人びとの思想と行動を、歴史の中に学び、理解する。 ・身近な地域の歴史や先人の足跡などをふまえて、現代の日本、さらには世界が直面する課題に、自分なりに対応し、考えることのできる能力を養う。 ・大学の所在地である群馬の人や思想の歴史について、自信をもって話したり叙述したりできるようになる。これは様々な社会のなかで有効なツールでもある。 ・上記をふまえ、的確な日本語を用いて、群馬の人と思想について、自分なりに叙述できるようになる、ということが到達目標である。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	・講義を中心に進める。 ・担当者作成のプリント(レジュメ・史料・資料など)を活用する。板書が中心となるので、ノートなどを用意すること。 ・毎回、リアクションペーパーを配布し、感想・質問・意見などを書いてもらう。次の授業ではその一部を紹介することによって、学生が互いの意見を知ったり、担当者が質問に答えるなどの振り返りを行い、一方通行になりがちな講義を双方向授業にする。 ・期間途中(前半)に、「群馬」に関する本を図書館で借りて読み、課題を提出するという図書館との連携課題がある。なお、これは前期「群馬の産業と社会Ⅰ」と共通課題である。また受講生の中から希望者を募り、「本のプレゼン」をしてもらう。これらのことを中間まとめの際に行う予定である。 ・期間途中に、授業内容に則した中間課題を提出してもらう。 ・授業をよりよく理解するために、下記の参考文献を準備学習に活用する。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	特になし。						
アセスメントポリシー 及び評価方法	試験(60%)、中間課題など(20%)、授業への取り組み姿勢を含めた平常点(20%)で総合的に評価する。						
教材	毎回の授業時に、プリント(レジュメ・史料・資料など)を配布するので、指定のテキストは特になし。						
参考図書	・『群馬県史 通史編』群馬県、1989～1992年 ・『図説群馬の歴史』河出書房新社、1989年 ・『史料でよみとく群馬の歴史』山川出版社、2007年 ・『群馬県の歴史』山川出版社、1997年・『群馬のキリスト者たち』聖公会出版、2012年 ・『多胡碑が語る古代日本と渡来人』吉川弘文館、2012年 ・久保田順一『新田一族の盛衰』あかぎ出版、2003年 ・宮崎俊弥『近代群馬のキリスト教教育』上毛新聞社、共愛学園前橋国際大学ブックレットⅣ、2012年 ・近藤義雄『群馬の浄土信仰』みやま文庫、2008年 ・高木侃『徳川満徳寺』みやま文庫、2012年など * その他の参考文献は授業でも紹介する。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス(概要紹介)						
授業外学修内容	シラバスを読んでくる。					時間数	0.5
2週目							
授業学修内容	多胡碑と古代の上野国―上野三碑をめぐって―						
授業外学修内容	準備学習として「多胡碑」について既知のことを確認しておく。振り返りとして授業内容を復習する。					時間数	1
3週目							

授業学修内容	古代上野国における信仰—仏教を中心に—		
授業外学修内容	準備学習として「古代の仏教」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。群馬に関する本を読む。	時間数	1.5
4週目			
授業学修内容	浅間山の噴火と荘園の成立		
授業外学修内容	準備学習として「浅間山の噴火」について既知のことを確認しておく。振り返りとして授業内容を復習する。群馬に関する本を読む。	時間数	1.5
5週目			
授業学修内容	新田一族と上野国の武士団		
授業外学修内容	準備学習として「中世の上野国」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。群馬に関する本を読む。	時間数	1.5
6週目			
授業学修内容	中世上野国の浄土信仰		
授業外学修内容	準備学習として「浄土信仰」について確認しておく。振り返りとして授業内容を復習する。群馬に関する本を読む。	時間数	1.5
7週目			
授業学修内容	長楽寺の僧義哲		
授業外学修内容	準備学習として「長楽寺」について既知のことを確認しておく。振り返りとして授業内容を復習する。群馬に関する本を読み、課題を作成して図書館に提出する。	時間数	1.5
8週目			
授業学修内容	中間まとめ全読書課題の紹介「本のプレゼンをしよう」(希望者によるプレゼン)		
授業外学修内容	振り返りとして前半部分の復習をする。希望者はプレゼンを準備し、プレゼンをする。受講者はプレゼンに関するコメントペーパーを提出する。中間課題を作成する。	時間数	1.5
9週目			
授業学修内容	白旗一揆とその構造		
授業外学修内容	準備学習として「一揆」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。中間課題を作成する。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	近世の旅行と上野国		
授業外学修内容	準備学習として「近世の旅」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。中間課題を作成し、提出する。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	満徳寺と上州の女性		
授業外学修内容	準備学習として「満徳寺」について既知のことを確認しておく。振り返りとして授業内容を復習する。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	近世群馬の学問と思想		
授業外学修内容	準備学習として「近世の学問」について参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	近代群馬のキリスト教		
授業外学修内容	準備学習として「群馬のキリスト教」について既知のことを確認しておく。振り返りとして授業内容を復習する。テストの課題を作成する。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	「正木文書」と新田氏研究		
授業外学修内容	準備学習として「新田一族」についてすでに学んだことを振り返っておく。また「正木文書」とは何か、参考文献を参照する。振り返りとして授業内容を復習する。テストの課題を作成する。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	群馬県に生きた人びととその思想 —講義のまとめ— * 以上の授業の順番・内容などは進度・理解度により変更する場合があります。		
授業外学修内容	テストの課題を作成する。	時間数	2

上記の授業外学修時間の合計	22.5
その他に必要な自習時間	67.5

Number	RES-2-002-sn	Subject	People and thought of Gunma		
Name	野口 華世 (Noguchi Hanayo)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course Outline	In relation to the history of Gunma, we will learn the thoughts of people and groups deeply related to Gunma. We will think about the roots that formed the people and thoughts of present day Gunma Prefecture from the people who lived in each era and their ideas and actions.				